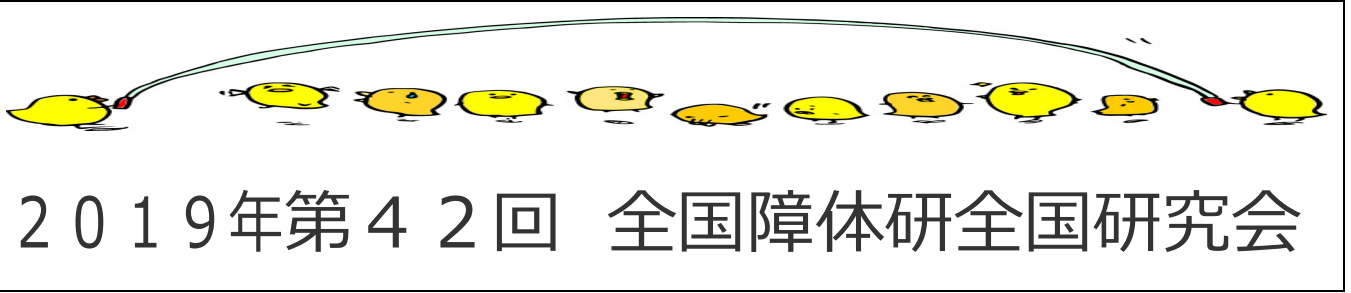


障害のある子ども達がわくわくするようなからだの取り組み・体育の授業について学びあいましょう！！



2019年第42回 全国障体研全国研究会

主催：全国障害児体育研究連絡協議会（HP:「全国障害児体育研究会」）

研究テーマ 楽しい体育の創造を！！からだはすべての土台。体育に限

らず、すべての授業をからだの視点でとらえなおそう！！

日 程：8月24日(土)～25日(日) 開会10時(受付9:30) 2日目終了16:30

会 場：井の頭線沿線の体育施設（世田谷区） ※申込み後お知らせします。

私たちは42年にわたって、いのち・からだ・体育を一体のものとして、子どもたちの発達に即した障がい児体育の実践・研究を進めてきました。また、社会に出てからのスポーツとの関りも視野に入れて実践を行ってきました。オリンピックが来年に迫りましたが、私たちは障がい児・者がもっと体育・スポーツを楽しめる社会にしていきたいと願っています。今年の大大会では、ワークショップ型の講座を通じて、みんなでからだを動かす楽しさや一体感を体感し、そこに込められた子ども観・教材観や理論も深く学んでいただけたらと思います。関東や関西の学校から42年間蓄積された選りすぐりの実践も紹介します。ご参加をお待ちしています。



日程:

9:30 10 12 13 16:30

24日	受付	開会	[①基礎講座：人間の運動発達から学ぼう]	昼休み	[②実践紹介：小1の生活をどうスタートするか(体育・生活・からだ・他教科)]	交流会 (自由参加)
-----	----	----	----------------------	-----	--	---------------

9:30 10 12 13 16:30

25日	受付	[③教材紹介・ワーク] 縄跳び、ビッグウェーブ、パラバールンなど、大きな集団での取り組み	昼休み	[④実践紹介Ⅱ] (予定) 器具トレ、サーキット他	感想	閉会
-----	----	---	-----	------------------------------	----	----

参加費（資料代） 1日500円、2日1000円 ※持ち物：動きやすい服・靴（室内用）

〔①基礎講座〕すべての運動の基礎となる運動発達（理論）と日常生活の取り組み

赤ちゃんから～幼児期の運動発達を学びます。特に、四つ這いや膝立ちの時期の大切さを実技も交えて紹介することで、子どもたちのからだの操作や、歩き方の育て方がわかるようになります。また、理論に加え、生活の中での取り組みとして、例えば、廊下を歩く時にわざと物を置くことで、それを避けるために多様な動きを引き出せる等、学校の生活の中での工夫も紹介します。

〔②実践報告〕小一年生の学校生活のスタートをどうきるか。 （身体活動の基礎となる力を高める授業の紹介）

12年間の学校生活のスタートとなる小1。授業づくりが問われます。からだを動かすことが楽しい！もっとやりたい！先生と一緒に動くことが嬉しい！そんな授業を肢体校、知的校から紹介し、生活、授業づくりのヒントを得ます。

〔③教材紹介・ワーク〕大きな集団での取り組み

縄跳び（長縄）、ビックウェーブ（ブルーシートを使った遊び）、パラバルーンなど大きな集団での遊び・体育を紹介し、実技も体験します。

〔④実践紹介Ⅱ〕（予定）

・器具トレ、サーキット、民舞などの授業を紹介します。朝の生活や授業で取り組める内容です。※紹介内容は変わる場合があります。

⑤参加者からのレポート発表（希望者）

レポート発表を希望する方は、2日目の午後を予定しています。お申し出ください。

※多数の場合は発表時間を調整させていただきます。



〔参加申し込み・問い合わせ〕FAXまたはメールにて

事務局 関口正和まで FAX(電話) 042-732-8456

メール:s-tida@tbe.t-com.ne.jp

宿泊・昼食・24日夜の交流会をご希望の方はお知らせください

参加申し込み書

お名前：

職場：

住所：

電話：

メールアドレス：

参加日（両日、8/24のみ、8/25のみ） 宿泊（あり・なし） ※8000円前後（部屋に限
りがあります。）

昼食希望（8/24 あり・なし 8/25 あり・なし） ※600円前後

24日夜の交流会参加（あり・なし）

要望（聞きたいこと）

（
）